

科目名	民俗学演習	
担当者	町 泰樹 / MACHI, Taiki	
科目情報	人間文化<歴史地理> / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	現代社会における生きた民俗学調査・研究の方法を、身近な民俗や参考文献の講読を通して学ぶ。それをもとに、民俗芸能・行事・調査を積極的に実施し、必ずしも歴史の表舞台に登場してこなかったような生活文化の変容過程を明らかにする。
	到達目標	民俗学調査・研究の視点と方法を、授業と実践を通して学ぶ。先人達の慣習や価値観をもとに、幅広い視点から現代社会の諸問題を解決しようとする方法と実践力を身に付ける。
授業計画	(1) オリエンテーションと授業（民俗学研究の視点） (2) 十五夜をめぐる民俗 (3) 先祖を迎える（お盆の民俗） (4) 生業と信仰の民俗（タノカンサアについて） (5) 「アホ・バカ分布」と「蝸牛考」 (6) 妖怪とは何か？ (7) 日本人の下半身の行方（性をめぐる民俗） (8) 人生儀礼の民俗 (9) ライフヒストリーの民俗（「忘れられた日本人」を読もう） (10) 民俗調査の心得（調査被害を考える） (11) 民俗学入門（民俗学の実践を考える） (12) 民俗はどのように展示されるのか？ 博物館（黎明館）見学 (13) 民俗行事の巡検実施Ⅰ・流鏑馬（日置市） (14) 民俗行事の巡検実施Ⅱ・メンドン（指宿市） (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材」や「参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は民俗事典等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・定期的に小レポートを課す。 ・授業の初めに、前回学んだことに対する質問を課す。
使用教材・参考文献	【教材】授業ごとにプリントを次回の分まで配布する。 【参考文献】八木透・政岡伸洋（編著）『図解雑学こんなに面白い民俗学』ナツメ社、2004年（ISBN：978-4-8163-3678-2）、等。他の文献も授業中に紹介する。	
成績評価方法と基準	平常点（特別な理由の無い欠席は減点とする）・巡検調査の参加態度・レポート	
備考	民俗行事の日程によって、授業内容の入れ替えがあります。	